



# **SnapManager**へのアクセス

## SnapManager Oracle

NetApp  
November 04, 2025

# 目次

SnapManager へのアクセス	1
SnapManager ホスト・サーバを起動しています	1
SnapManager ホストサーバのステータスの確認	1
SnapManager コマンドを使用する	2
SnapManager GUI を起動しています	2
Java Web Start を使用したグラフィカルユーザインターフェイスのダウンロードと起動	2

# SnapManagerへのアクセス

SnapManagerには、コマンドラインインターフェイス（CLI）またはグラフィカルユーザインターフェイス（GUI）を使用してアクセスできます。

さまざまなSnapManager処理を次の方法で実行できます。

- データベース・ホストと同じネットワークにあるホストのCLIにコマンドを入力する。

すべてのコマンドのリスト、およびオプションと引数の説明については、「コマンドリファレンス」の章を参照してください。

CLIにアクセスするには、\* Start \* > \* All Programs \* > \* NetApp \* > \* SnapManager for Oracle \* > \* Start SMO Command-Line Interface（CLI；コマンドラインインターフェイス）\*の順にクリックします。

- データベース・ホストと同じネットワーク上にあるホストのGUIにアクセスする。

GUIには使いやすいシンプルなウィザードが用意されており、さまざまな操作を実行できます。

- 関連情報\*

[SnapManager for Oracleのコマンドリファレンス](#)を参照してください

## SnapManagerホスト・サーバを起動しています

SnapManagerサーバは、Windowsサービスを使用して起動できます。

- [\* スタート \* > \* コントロールパネル \* > \* 管理ツール \* > \* サービス \*]をクリックします。
- Servicesウィンドウで、Oracle用のNetAppSnapManager 3.3を選択します。
- サーバは、次の3つの方法のいずれかで起動できます。
  - 左パネルで、\* スタート \*をクリックします。
  - NetAppSnapManager 3.3 for Oracleを右クリックし、ドロップダウン・メニューから\* Start \*を選択します。
  - NetAppSnapManager 3.3 for Oracleをダブルクリックし、プロパティウィンドウで\* Start \*をクリックします。

## SnapManagerホストサーバのステータスの確認

コマンドを実行したり、SnapManager処理を開始したりするには、サーバが実行されている必要があります。処理を実行する前に、サーバのステータスを確認する必要があります。

- [サービス]ウィンドウで'OracleのSnapManager 3.3'を選択します
- ステータス列でステータスを確認します。

# SnapManager コマンドを使用する

SnapManager ホストサーバを起動したら、ホストのプロンプトでコマンドを入力して、SnapManager を使用できます。

1. 操作を実行するには：

- Windows ホストの場合は、「 \* Start \* > \* All Programs \* > \* NetApp \* > \* SnapManager for Oracle \* > \* Start SMO Command Line Interface ( CLI ; コマンドラインインターフェイス ) 」の順に選択します

# SnapManager GUI を起動しています

SnapManager がホストにインストールされている場合は、プログラムのリストからプログラムを選択して、 SnapManager のグラフィカルユーザインターフェイス ( GUI ) を起動します。

- SnapManager サーバが起動していることを確認します。

SnapManager GUI は、次のいずれかの方法で起動できます。

- SnapManager ホストで、 \* Start \* > \* All Programs \* > \* NetApp \* > \* SnapManager for Oracle \* > \* Start SMO GUI \* をクリックします。
- ホストに SnapManager がインストールされていない場合は、 Java Web Start を使用します。この Start を使用すると、 SnapManager コンポーネントがダウンロードされ、 GUI が起動します。
- 関連情報 \*

[Java Web Start を使用したグラフィカルユーザインターフェイスのダウンロードと起動](#)

# Java Web Start を使用したグラフィカルユーザインターフェイスのダウンロードと起動

SnapManager がホストにインストールされていない場合は、 Java Web Start を使用できます。 Java Web Start は、 SnapManager コンポーネントをダウンロードし、 GUI ( グラフィカルユーザインターフェイス ) を起動します。サポートされている JRE のバージョンは、 1.5 、 1.6 、 1.7 、および 1.8 です。

次の条件が満たされていることを確認する必要があります。

- SnapManager サーバが実行されている。
- Web ブラウザウィンドウが開きます。
  - a. Microsoft Internet Explorer の Web ブラウザウィンドウで、と入力します <https://smo-server.domain.com:port> 。

smo-server.domain.com は、 SnapManager をインストールした完全修飾ホスト名およびドメインです。 port は、 SnapManager サーバのリスニングポートです ( デフォルトでは 27214 ) 。



ブラウザウィンドウで https と入力する必要があります。

「サイトのセキュリティ証明書に問題があります ... 続行しますか？」というメッセージが表示されたダイアログボックスが表示されます

- b. [ はい ] または [ 続行 ] をクリックします。
- c. Click here to download and install JRE 6.0 and the application というラベルのリンクをクリックして、JRE 6.0 とアプリケーションをダウンロードしてインストールします。

Download Java Web Start with the message このサイトには、次の ActiveX コントロールが必要な場合があります。Java Plug-in 1.6 "..." インストールするにはここをクリックしてください" が表示されます

- d. インストールウィンドウで、次の手順を実行します。
  - i. Click here to install... というメッセージをクリックします  
[ActiveX コントロールのインストール \*] メニューが表示されます。
  - ii. [ActiveX コントロールのインストール ...] を選択します。  
「このソフトウェアをインストールしますか？」というテキストを含む「Internet Explorer - セキュリティ警告」というメッセージが表示されます。名前：Java Plug-in 1.6 が表示されます。
  - iii. 「\* Install \*」をクリックします。  
J2SE Runtime Environment 1.6 のインストーラの「Java Plug-in 1.6」ウィンドウが表示されます。
  - iv. 「\* Install \*」をクリックします。  
J2SE Runtime Environment 1.6 のインストールを要求するウィンドウが表示されます。
- e. インストールウィンドウで、次の手順を実行します。
  - i. [ 使用許諾契約 ] ページで、[\* I accept the terms in the license agreement\*] を選択し、[\* Next \*] をクリックします。
  - ii. [ セットアップの種類 ] ページで [Typical] を選択し、[ 次へ \*Next] をクリックします。
  - iii. [ インストールの完了 ] ウィンドウで、[完了] をクリックします。

SnapManager がダウンロードを開始します。

[ ファイルのダウンロード ] ダイアログボックスに「このファイルを保存しますか？」というメッセージが表示されます。application.jnlp が表示されます。

- f. ファイルのダウンロードウィンドウで、次の手順を実行します。
  - i. Windows クライアントに最新バージョンの JRE 1.6 をインストールします。
  - ii. 次のコマンドを実行して、Java がインストールされていることを確認します。java -version  
出力には、Java のバージョンが 1.6.0\_24 (Java 1.6 以降) であることが示されます。

- iii. Windows の構成設定を変更して、Java Web Start Launcher プログラムを使用して、拡張子 `jnlp` のファイルを常に開くようにします。

Windows の設定を変更する手順は、使用している Windows のバージョンによって異なります。

- iv. 手順 1 で指定した SnapManager URL を入力します。

SnapManager のダウンロードが Windows クライアント上で開始され、警告セキュリティダイアログボックスが表示されます。

- g. 次の手順を実行します。

メッセージの内容とボタンラベルは、プラットフォームによって異なります。

- i. [ 警告 - セキュリティ ] ダイアログボックスで、[ はい ] をクリックします。

ダイアログボックスが表示されます。

- ii. ホスト名の不一致のダイアログボックスで、\* ファイル名を指定して実行 \* をクリックします。

SnapManager アプリケーションの署名に関するメッセージが表示された [ 警告 - セキュリティ ] ダイアログボックスが表示されます。

- iii. [ ファイル名を指定して実行 ] をクリック

「Java Installer - Security Warning」というタイトルのダイアログボックスと「Warning Security - The application's digital signature」というメッセージが表示されます。アプリケーションを実行しますか？が表示されます。

- iv. [ ファイル名を指定して実行 ] をクリック

ブラウザが SnapManager for Oracle GUI をダウンロードして起動します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。